

2007年10月12日



# 資料館通信 第60号

ふじみ野市立

上福岡歴史民俗資料館  
大井郷土資料館

埼玉県ふじみ野市長宮1-2-11  
埼玉県ふじみ野市大井中央2-19-5

TEL 049-261-6065  
TEL 049-263-3111



昭和10年代 十条の造兵廠填装工場 銃弾検査風景  
(写真提供 田野晴美氏)



造兵廠川越製造所  
昭和12年製消火栓  
<平成19年5月上福岡貝塚出土>

上福岡歴史民俗資料館の

## 四半世紀にわたる陸軍兵器工場調査の集大成

### 特別展「東京第一陸軍造兵廠の軌跡」を

### 11月25日まで開催

市域に所在した造兵廠川越製造所と大井倉庫、そして東京の北区十条の造兵廠本部・第一～第三製造所の実物資料や古写真約460点を展示公開しています。

●大井郷土資料館の企画展

中世のムラ 一人々の暮らしと信仰— を開催します。  
会期 11月10日(土)～12月9日(日)



第22回  
特別展

## 東京第一陸軍造兵廠の軌跡

—埼玉と東京を中心に—

平成19年9月29日(土)～11月25日(日)

今回の特別展は、四半世紀にわたり本館が行ってきた造兵廠調査の成果をまとめた、最後の展示会になります。これまで、元将校や従業員・学徒の方々よりの聞き書きや実物資料の収集を実施し、そして今、戦後62年が経過し、当時を知っている人たちも少なくなりました。

特別展示会は、大きく3つのコーナーに分け、約460点余りの実物資料と写真パネルで構成。

1. 導入展示～川越製造所建造物の模型、川越製造所長の神田大佐関係資料、出土の消火栓
2. 東京の造兵廠とその他の製造所展示～3製造所、滝野川工場、大宮製造所等の実物資料と写真
3. 川越製造所(福岡工場)の展示～出土品、生産品関連の弾薬箱等、従業員と学徒動員の実物資料と写真

展示品は、本家(東京都北区)と分家(川越製造所)筋の2ヶ所の東京第一陸軍造兵廠(略称・東一造)にかかわる資料展示です。また、今回の資料調査で新発見され、特別展に初めて出品する資料も含まれています。主な展示資料は次の通りです。

## ●十条の東一造本部、第一・第二・第三製造所関係の実物や写真資料

1 北区内の飛鳥山博物館、区教委文化財係、区行政資料センター等の関係部署から借用した造兵廠門柱表札、レンガ、絵葉書、地図、写真や滝野川工場の学徒章・腕章等約30点。

## [新発見資料]

2 田野晴美氏所蔵の弾丸工場や填薬工場での銃弾製造や検査風景、十条病院、技能者養成所などの写真9点。(いずれの写真も撮影年は昭和10年代)

## [新発見資料]

3 昭和17年7月まで東一造本部監督課長として勤務した神田中佐の長男、

神田一正氏(新潟県在住)所蔵の写真10点。これらは、昭和11年～昭和17年までの十条構内の銃包製造所兼精器製造所建物前、煉瓦造り建物前、技能者養成所前、鉄筋コンクリート建物前での東一造所長会議などの記念写真である。

製造所長会議出席者は、杉浦廠長(少将)、本部の各課長や全国の所長で、氏名が孔版刷りで書かれていた。そのほか、技能者養成所前の写真裏面に、朱色で「東一造」公印と許可の押印がある。写真の外部持ち出しが許可されたものであろう。

これらの写真は、十条構内の本部か工場の事務所周辺の撮影と思われるが、どこの場所か、どの建物であるか特定できなかったのは残念であった。



紅葉門柱表札(十条構内)  
北区飛鳥山博物館蔵



昭和11年 銃包・精器製造所前(写真提供 神田一正氏)



●昭和11年～同20年の川越製造所（福岡工場）  
関連の実物や写真資料

1 川越製造所責任者クラスの杉本富作氏から寄贈された、明治25年から昭和19年までの造兵廠図書（東京砲兵工廠・東京工廠・東京第一陸軍造兵廠蔵書印入り）、図面、終戦直後の建物・機械器具一覧などの文書。そして、数多くの元従業員から寄贈された、製造所内使用の弾薬箱、火薬ハカリや管状薬容器、工具手帳、食堂のドンブリなど各種の実物資料約300点の展示。



【新発見資料】

2 本年春の上福岡貝塚発掘調査中、川越製造所第一工場跡地から昭和12年製消火栓（高さ98cm）が、70年の時を経て発見されたものを展示。



【新発見資料】

3 本号2頁の神田中佐（のち大佐）は、昭和17年8月川越製造所長になり、その後所内で使用していた昭和18年建造物配置図の新出資料の展示。



【新発見資料】

4 元従業員から寄贈された、信号弾と照明弾用落下傘の新出資料の展示。前者は小さな赤色の落下傘、後者は照明弾の重量40kg位のため大きな白絹の羽二重製。この羽二重つくりは、学徒動員の女学生が従事していたほか、疎開のため羽二重を川越工業の学徒が大井倉庫へ運搬していたという。

造兵廠蔵書印影（本館蔵）

●記念事業（定員は各回50人。参加費無料）

内容	日時	講師等
記念講演会「東京第一陸軍造兵廠の実態に迫る」	10月14日（日） 午後1時30分～	大柴英雄氏（ふじみ野市文化財保護審議会委員）
講座①「63年前の造兵廠川越製造所体験を語る」	10月21日（日） 午後1時30分～	内田喜代治氏（ふじみ野市郷土文化研究会会長）
講座②「太平洋を渡った風船爆弾」	10月28日（日） 午後1時30分～	吉野興一氏（『風船爆弾 純国産兵器ふ号の記録』著者）
講座③「東京と埼玉の学徒動員を語る」	11月4日（日） 午後1時30分～	藤代喜代子氏（滝野川工場の学徒）・ 細井栄五郎氏（川越製造所の学徒）ほか
講座④「造兵廠大井倉庫と川越製造所長神田大佐」	11月18日（日） 午後1時30分～	高木文夫（本館館長）

平成19年度

企画展

# 中世のムラ

—人々の暮らしと信仰—

平成19年11月10日(土)～12月9日(日)

中世、旧大井町の一部は「大井郷」と呼ばれていました。この大井郷は「ムラ」と呼ばれるいくつかの地域社会によって構成されていました。これらのムラは概ね、江戸時代の「大井宿」や「亀久保村」の母体になり、更に、明治時代以降は「大字」になっていったものと考えられています。

これまで、中世の大井郷については、戦国時代に大井のムラの指導的な立場にあった新井家や塩野家に残る文書等以外には、当時のムラの様子を今に伝える資料の存在はあまり知られていなかったため、「大井郷」の全貌は必ずしも明らかではありませんでした。

とはいえ、その中心が現在の東原小学校の付近にあった「大井のムラ」は近年大規模な発掘調査が行われ、その調査の結果から、ムラの規模やムラに活きた人々の暮らしが少しずつですが、明らかにされ始めています。また、「亀久保のムラ」については、中世の終わり戦国時代、大井郷を支配した後北条氏に仕え、後北条氏滅亡の後、亀久保に居を定め、亀久保から西に広がる武蔵野の原野の開発に携わった三上家に、当時のムラを知る上で必要な資料が伝えられていることが確認されています。今後、それらの資料の研究により亀久保のムラの様相の一端を知る手がかりとなることが期待されています。

今回の企画展は、こうした資料を通して「大井のムラ」や「亀久保のムラ」に暮らしの人々の生活や信仰の様子について紹介します。

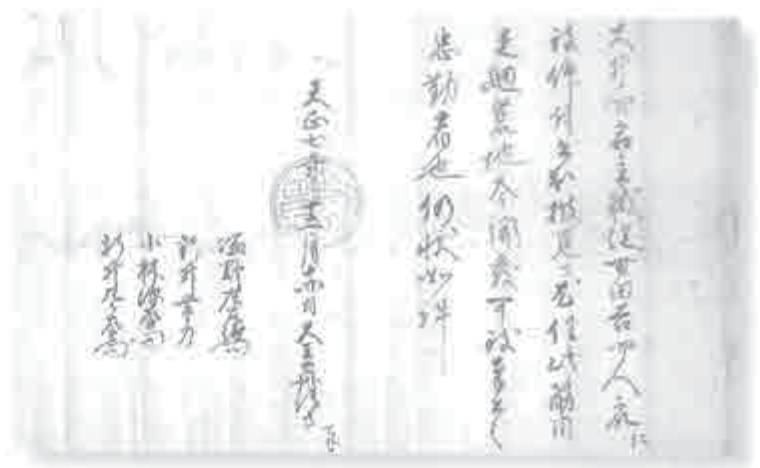
## ●主な展示資料

資料名	時代・出土地点等	所蔵者等
青磁碗	宋・本村遺跡	ふじみ野市教育委員会
青銅製花瓶	室町時代・本村遺跡	ふじみ野市教育委員会
片口鉢	中世・本村遺跡	ふじみ野市教育委員会
播鉢	中世・本村遺跡	ふじみ野市教育委員会
石臼	中世・本村遺跡	ふじみ野市教育委員会
茶臼	中世・本村遺跡	ふじみ野市教育委員会
茶臼	中世・本村遺跡	ふじみ野市教育委員会
阿弥陀一尊種子板碑	明徳元年(1390)・本村遺跡	ふじみ野市教育委員会
阿弥陀一尊種子板碑	天文23年(1554)	市沢共同墓地講中
北条家文書	永祿6年(1563)	塩野泰弘氏
吉良氏印判状(複製)	天正7年(1579)	原資料所蔵新井喜久治氏
北条幻庵印判状(複製)	天正7年(1579)	原資料所蔵新井喜久治氏
三上家由緒書	文化12年(1815)	三上太一郎氏
三上家系写		三上栄一氏
木造三宝本尊	元禄9年(1696)	三上栄一氏
木造日蓮上人坐像	幕末～明治	三上栄一氏
題目本尊	弘化3年(1846)	三上栄一氏





木造三宝本尊像（三上栄一氏所蔵）



北条幻庵印判状（新井喜久治氏所蔵）

## ●企画展関連事業

No	日時	講座名・演題等	講師等
①	11月10日（土） 午前10時～午後3時	文化財めぐり 「大井郷」ゆかりの地を歩く	本館職員
②	11月17日（土） 午後1時30分～3時30分	歴史教室 「三上家持仏堂の仏像について」	原口雅樹 （本館学芸員）
③	11月25日（日） 午後1時30分～3時30分	企画展記念講演会 「板碑から見た中世の信仰」	有元修一氏 （目白大学教授）

※①は参加費として100円（保険料等）が必要です。②・③は参加費無料。

申込・問い合わせは大井郷土資料館まで

## 三富文化財ウォーク

## －富のイモと開拓の歴史－

埼玉県・ふじみ野市・三芳町・所沢市・川越市・狭山市の6自治体で構成する三富地域文化財普及・活用事業実行委員会では、現在も整然と残されている三富開拓地割遺跡を広く知っていただくことを目的に、今年度は多福寺（三芳町）、多間院（所沢市）などを見てまわる、文化財ウォークを開催し、300年も前に計画的に新田を開拓した人々に思いを巡らせながら、富のサツマイモの収穫も体験していただきます。

また、文化財ウォークの写真展を平成20年1月19日（土）～25日（金）に大井郷土資料館で開催する予定ですので、皆様のご来館をお待ちしております。

# ふじみ野市の両資料館への資料の寄贈

平成18年10月から平成19年9月まで次の方々より、各種の文化財資料を寄贈していただきましたので、紙上をもって厚くお礼申し上げます。

## 市立上福岡歴史民俗資料館分

平成18年

- 10月29日 陸軍の軍隊用手袋  
富士見市 尾崎村藏氏
- 11月10日 大釜、カマド  
市内(松山)内田喜代治氏
- 12月13日 マトイ、消防団腕章、元火工廠引込線文書ほか、消防団関連文書29点  
市内 宮寺康夫氏(市消防団)

平成19年

- 5月13日 福岡中学校開校20年及び福岡第一小学校開校100周年記念手拭  
市内 田中八千代氏
- 5月20日 昭和35年上野台団地入居案内及び住まいのしおり  
市内 折橋杉郎氏
- 5月23日 造兵廠第一工場(上福岡貝塚)出土品の昭和12年製消火栓と鉄製配管のほか、第三工場(上野台団地)出土の陶製配管等を収蔵。  
5月31日 ヒナ人形、福岡村民税関連手拭、無線・区長等の文書、古写真他  
市内 坂寄安彦氏
- 8月28日 大小のコマ、江戸凧  
市内 松井宗一氏

※そのほか、合併関連の歴史資料として七夕まつり等の各種行事の写真、旗、印鑑、昭和47年旧上福岡市庁舎落成記念関係物を収集した。

## 市立大井郷土資料館分

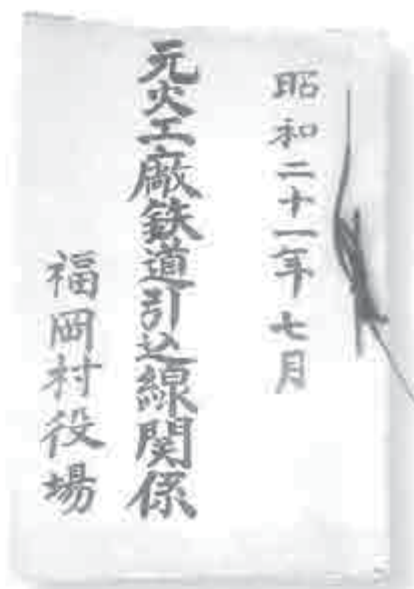
平成18年

- 12月12日 市沢観音講追加資料(封筒・打敷・にしき・軸包み・敷物・風呂敷・観音経・観音掛軸修理奉納者連名帳等)  
市内 市沢観音講中

平成19年

- 2月23日 太子講の聖徳太子絵像、燭台、太子講文書  
市内 太子講(亀久保)
- 9月14日 ラジオ、テープレコーダー、電話  
市内 駒井和久氏

※そのほか、合併関連の歴史資料として旧大井町旗や関係文書を収集した。



元火工廠鉄道引込線関係  
(昭和21年7月)



聖徳太子十六歳孝養像